

韓日漢字語における対応関係の分析

—日本語教育における指導法を視野に入れて—

Analysis Of Relation In Korea-Japan Chinese Character Words

—With View Of Method Of Japanese-Language Education—

千 英子 柏原 卓

1. はじめに

日本語と韓国語は語順・漢字語・格関係などの外面的な内容において非常に類似しているということは、よく知られている通りで、両言語において共に学習しやすい言語であると言われている¹⁾。しかし、その内実を詳しく検討してみると、意外に異なっている点の多いことに気付かされる。その中の一つが漢字語である。本稿では韓日両言語における対照研究の一環として両言語における漢字語を取り上げる。

韓日両国は、古代から長期にわたって、文字から文化、宗教などにいたるまで、交流を行なってきた。特に、文字がなかったときには両国は漢字を借用して文字生活をし、段々漢字文化圏を形成するようになった。従って、両国においては、漢字語の果たす役割はきわめて重要である。ところが、韓国では1970年代から政府のハングル専用政策によって、新聞や雑誌などで漢字に接する機会がほとんどなくなってきた。それでも、韓国は漢字文化圏に属していると言う理由で、日本語教育において、漢字は熟知しているという前提の下で、漢字語教育はあまり行なわれていないのが現状である。

実際、両言語は語順や漢字語の面において類似しているので、韓国語を日本語に訳す場合、漢字語の部分はそのまま残し、ハングルで表現されている部分のみ翻訳すれば、大体完璧な日本語の表現になりがちである。逆に日本語を韓国語に翻訳する場合も、漢字部分はそのまま残し、平仮名のみ韓国語に訳せば大体完璧な韓国語になりがちである。しかし、両言語において共通の漢字語があるのにも関わらず、同じ漢字でも異なる意味を表わす「同形異義語」が存在するのである。例えば、携帯の電波が悪いとき、韓国語の場合は「신호 (信号) 가 안 좋다 (信号が良くない)」と表現するのに対して、日本語の場合は「信号」というと、信号機を思い浮かべるのである。「今信号が良くないから聞こえない」と相手に言われたら、交差点の信号機が悪いと言っているのかと思ひ、理解に苦しむことになるだろう。従って、日本語学習者にとって、実際の日常生活の中で、両言語における漢字語の使用状況、使い方の特徴を十分に把握し、適切な場面で適切な漢字語を使えるようにするためには、漢字語が使われている実際の文脈や状況の中から理解することが非常に重要である。

そこで本稿では特定の資料を対象として、両言語がどのように対応しているかに焦点をおいて、具体例の観察を通じて日本語教育の場での対処法をも考えて行こうとする。本研究は日本語教育の現場、ひいては日本における韓国語教育現場でも参考になるものと思われる。

2. 研究経緯と先行研究

本節では、本稿の研究意義と研究方法及び先行研究について取り上げる。

2.1 研究経緯

両言語における対応関係を検討することによって、ひとつの言語に限った研究では明らかにされなかった事実が新たに発見されることもありうる。また諸言語の間に内在している同一性と異質性を比較することによって、一般的な言語の普遍性を模索すると同時に個別的な言語における特徴を見つけ出すことが可能である。本研究において、韓国語との対照研究を念頭においているのもそのためである。

以上のような事情を踏まえた上で、本稿では韓日両言語の対照研究の試みとして、客観性を重視するいちばん適切な方法として対訳文を用いることにした。作品の選択においては、日本において「韓流ブーム」(アジアにおける韓国大衆文化の流行)の契機となった日本国内で最も高い認知度がある『겨울연가/冬のソナタ』を取り上げることにする。作品の中で漢字語の実例文を抽出し、両言語における漢字語の全体的な対応状況を分析し、それぞれの使い方の特徴について考察を行うことにする。

2.2 先行研究

韓国語においては外来語及び日本式漢字語が数多く輸入されており、それに伴って韓国語固有語の数が減少しつつあるという事実はマスコミ媒体を通じても簡単に分かることである。一方、日本語においては漢字語は勿論、和語と呼ばれる固有語における名詞・用言を漢字で表記される場合が多く、その比率は全体の語彙量の70%を占めるほどであると指摘している²⁾。このように、両言語において漢字語は大事な役割を果たしている。

ところで、韓国語の「漢字語」という用語は、日本語ではほとんど使われず、主に「漢語」という用語が使われているが、本稿では韓国語の作品を対象としているので、便宜上「漢字語」という用語を使用することにする。

①韓国語の漢字語

韓国語で使われる漢字語の用語について「한자로 된 낱말, 筆者訳：(漢字でできた単語)」³⁾、或いは「한국어 고유어에 대하여 한자로 이루어진 낱말, 한자에서 비롯된 말, 筆者訳：(韓国語の固有語に対して漢字で作られた単語)」⁴⁾と述べている。

②日本語の漢語

『新版日本語教育事典』(2005)によると、「漢語とは、語種による語の分類の一つで、古代から中世にかけて、中国大陸から漢字とともに日本語に入ってきた語のことをいう。すなわち、当時の中国語の語彙が発音・表記とも原語のまま導入され、やがて日本語化したものが漢語である。漢語は、漢字で書かれ、中国語に由来する発音(古いほうから呉音、漢音、唐宋音)で読まれる点に特徴がある。漢字の発音を漢字音あるいは字音と呼ぶことから、漢語を字音語ということもある。」と述べている。また、日本国語大辞典(1981)では、「和語に対して漢音、呉音など漢字の字音による語。また、漢字の熟語。字音語。もともと中国で用いられていたものを日本語の中に借用したもの、和語に漢字をあてて音読したもの、日本で作られたものなどがある。」と述べている。

以上の先行研究を踏まえて、本稿では、日本語において、音読みにあたる漢字語のみを考察の対象とする。なお、韓国語では一般に漢字の読みはほとんどの場合1字1音である。

3. 漢字語の使用状況

本節では、韓国語の原作「겨울연가」を対象とし、日本語の「冬のソナタ」に訳されている大量の例文に基づいて、漢字語がどのように日本語に訳されるかを調査する。その中で両言語における漢字語の全体的な対応状況を分析し、両言語が共通の漢字語として対応している場合と対応しない場合に分けて、それぞれの使用状況、使い方の特徴に関して具体的に分析を行うことにする。事例に関しては、出現頻度の多い順にそれぞれ約40語にしぼって取り上げることにする。

3.1 共通の漢字語として対応する場合

以下は作品の中の漢字語が日本語に訳される際、共通の漢字語に訳された漢字語である。

可能性、家族、感謝、結局、結婚、公式、気分、当然、予約、反対、飛行機、事故、先生、約束、運命、理事、以上、利用、理由、理解、電話、絶対、整理、後悔、確認、行動、学校、必要、重要、卒業、時間、病院、結果、不可能、秘密、事実、写真、永遠、研究室、祝福、出発、後遺症

- (1) 버스는 이미 학교를 지나쳐서 다른 곳을 향해 가고 있다.
バスはすでに学校を過ぎ、他のところに向かっている。
- (2) 공식을 이해한건지 확인하려고 하는거니까 부담 갖지 말고 . . .
公式を理解しているか確認するためだから、負担に思わず . . .
- (3) 내일 아침 비행기 예약해왔다.
明日の朝の飛行機を予約しておいたわ。
- (4) 굳이 춘천까지 와서 학교를 다니겠다고 하는 이유를 모르겠어.
わざわざ春川にまできて学校に通いたいという理由がわからないわ。
- (5) 얼른 니네 아버지한테 전화해. 빨리!
さっさと父親に電話するんだ。早く!

以上の(1)～(5)例文は、韓国語の漢字語が日本語に訳される際、韓国語と共通の漢字語に訳される例文である。これらの例文は両言語において、漢字語の用法と意味は共通しているため、共通の漢字語で対応しているという

特徴がある。このように、両言語において共通の漢字語で対応する漢字語は 1096 語で全体の約 38.7% を占める。

3.2 共通の漢字語として対応しない場合

3.1 のように、韓国語の漢字語が日本語に訳される場合、共通の漢字語を用いて同じ意味用法として対応することがわかった。反面、作品における韓国語の漢字語が日本語に訳される場合、必ずしも共通の漢字語として対応せず、異なる形式と対応することが分かった。次節では、これらの共通の漢字語として対応しない例文を類型別に分類し、その理由について考察することにする。

3.2.1 異なる漢字語と対応する場合

以下は韓国語の漢字語が日本語に訳される際、異なる漢字語として対応する漢字語である。

고생 (苦生) / 苦勞, 공부 (工夫) / 勉強, 공연시작 (公演始作) / 開演, 기일 (忌日) / 命日, 남매 (男妹) / 兄妹, 낭송 (朗誦) / 朗読, 농담 (弄談) / 冗談, 대답 (对答) / 返事, 동전 (銅錢) / 硬貨, 만취 (滿醉) / 泥酔, 미진 (未盡) / 不備, 비밀 (秘密) / 内緒, 사양 (辭讓) / 遠慮, 산소 (山所) / 墓所, 상관 (相関) / 無縁, 상의 (相議) / 相談, 색감 (色感) / 色調, 생신 (生辰) / 誕生日, 소중 (所重) / 大切, 신기 (神奇) / 不思議, 안녕 (安寧) / 元氣, 약혼 (約婚) / 婚約, 열심 (熱心) / 一生懸命, 무례 (無禮) / 無作法, 예민 (銳敏) / 敏感, 자기 (自己) / 自分, 자신감 (自信感) / 自信, 장애 (障礙) / 障害, 정답 (正答) / 正解, 장례식 (葬禮式) / 葬式, 진심 (真心) / 本氣

- (6) 준상과 함께 공부 (工夫) 하는 것을 목격하고, 그것을 준상에게 따져묻고 있다.
 ジュンサンと一緒に勉強しているのを目撃し、そのことをジュンサンに問い質す。
- (7) 강준상 같은 애는 누굴 진심 (真心) 으로 좋아하는 애가 아니야.
 칸ジュンサンのような奴は誰かを本気で好きになつたりはしない。
- (8) 준상의 장례식 (葬禮式) 을 치루기 위해 모여있다.
 ジュンサンの葬式をするために集まっている。
- (9) 그리고 십년 만에 프랑스에서 돌아온 채린의 축복을 받으며 유진, 상혁의 약혼 (約婚) 파티가 진행된다.
 それに 10 年ぶりにフランスから帰国したチェリンの祝福を受けて、ユジン、サンヒョクの婚約パーティーが開かれている。
- (10) 내가 너무 무례 (無禮) 했나...
 僕が無作法すぎたかな...

以上の例文 (6) ~ (10) において、韓国語における漢字語が日本語に訳される際、韓国語の漢字語と比べて、その用法や意味において明白な違いがあるか、または若干差異があるため、日本語では異なる漢字語が使われている。例えば、(6) の場合、日本語にも「工夫」という漢字語が存在するのにも関わらず、その意味用法に対応しないのである。つまり、(6) の「工夫」は韓国語では勉強するという意味を表わすが、日本語では同じ漢字語の「工夫」が存在しても、勉強の意味は含まれず、よい方法を考えめぐらすことを表わすので、両言語においては共通の漢字語で対応することはできない。また、日本語で「葬禮式」「約婚」「無禮」と言っても意味は通じるかも知れないが、実際使われてはいない。一方、日本語にも「真心」という漢字語が存在しているが、「真心」は真剣に思う心、という意味が含まれており、「本気」は心からする気を起した気持ちという意味を表わしており、韓国語と大体同じ意味合いをもっているが、日常生活の中での使用頻度、文脈の流れによって、日本語では「真心」ではなく、「本気」が用いられていると思われる。

以上のように、韓国語の漢字語が日本語に訳される場合、共通の漢字語が存在しても、意味上明白な違いがあるか、または若干差異があるため、日本語では違う漢字語を選んで対応する場合もあると言える。一方、韓国語のように、特定の意味を持つ漢字語が存在しないため、日本語では異なる漢字語を使って対応することが分かった。

3.2.2 外来語で対応する場合

以下は韓国語の漢字語が日本語に訳される際、外来語と対応する場合である。

조회 (朝会) / ホームルーム, 화장실 (化粧室) / トイレ, 침대 (寢台) / ベット, 제목 (題目) / タイトル, 인심 (人心) / サービス, 여관 (旅館) / モーター, 공연 (公演) / 리サイタル, 귀국공연 (帰国公演) / コンサー

ト、단임 (担任) / 클래스, 미국 (美国) / Америка, 배구 (排球) / 배러볼, 분홍색 (粉紅色) / 핑크, 사물함 (私物函) / 로커, 선물 (贈物) / 프레젠티, 전문가 (專門家) / 프로, 기회 (機會) / 찬스, 배경 (背景) / 백, 시험 (試驗) / 테스트, 실수 (失手) / 미스, 분위기 (雰圍氣) / 무드, 장갑 (掌匣) / 미톤, 경광등 (螢光灯) / 사이렌, 사무실 (事務室) / 오피스, 약혼자 (約婚者) / 피안세, 문 (門) / 도어, 맥주 (麥酒) / 비어

- (11) 빈 사물함 (私物函) 있나 확인해서 챙겨줘라 . . .
 空きロッカーがあるか確認して、用意してやり . . .
- (12) 자! 오늘 조회 (朝会) 끝!
 これで今日のホームルームは終わり!
- (13) 너도 참 이상한 애다. 미국 (美国) 가면 그만인데 굳이 여기 춘천까지 와서 학교를 다니겠다고 하는 이유를 모르겠어.
 あなたも本当におかしな子ね。アメリカに行けばいいものを、わざわざ春川にまできて学校に通いたいという理由がわからないわ。
- (14) 어쨌든 이번 공연 (公演) 이 끝나고 정리되는 대로 미국으로 갈거니까 그리 알고 있어.
 ともかく、今度のリサイタルが終わって整理がつきしだいアメリカへ行くから、そのつもりで。
- (15) 갑자기 입을 다물고 화난 사람처럼 선물 (贈物) 만 챙겨담는다.
 突然口をつぐみ、怒ったようにプレゼントをショッピングバックにしまい始める。

例文 (11) ~ (15) では、韓国語の漢字語が日本語に訳される際、何れも外来語を用いて対応している。その中で、例文 (12) (13) (14) において、日本語にも漢字語「朝会」「米国」「公演」という漢字語が存在するのにも関わらず、外来語が用いられている。これは日本人が日常生活の中で外来語を好んで使用する傾向があるため、共通の漢字語が存在してもあえて外来語が使われていると考える。なお、シナリオにおける登場人物の居住地や職業などを考えて漢字語より外来語が使われる頻度が高いと思われる。例えば、例文 (14) では、話者は長い間外国で生活しているという背景を視野に入れて、韓国語では漢字語を用いて表現しているが、日本語では漢字語ではなく外来語が使われている可能性があると考えられる。

なお、(11) の 사물함 (私物函) は日本語の「私物箱」になるが、日本語では「投票箱」「ごみ箱」の場合は必ず「箱」を使っても、会社などで個人所持品を入れる鍵付きの箱を指す場合は、「私物箱」とは言わず、「ロッカー」を使って表現するが、その使い分けは習慣によるものだと考えられる。最後に、例文 (15) では、韓国語における 선물 (贈物) の意味を表わす漢字語の「土産」もあるが、日本語の「土産」とは、旅先から持ち帰って人に贈るその土地の産物である。一方、「プレゼント」とは贈物を指し、「土産」より広義の意味を持っているので、(15) では「プレゼント」が使われていると考える。

以上のように、韓国語の漢字語が日本語に訳される際、対応する漢字語が存在しないかまたは、意味用法の面において若干異なる意味を表わすため、漢字語ではなく外来語を選んで対応することが分かった。但し、多くの場合は対応する漢字語が存在するか、または意味上若干異なる場合でも、日常生活の中で使用頻度が高い外来語が使われているが、これは外来語の使用頻度が高い日本語の特徴を表わすものであると言える。

3.2.3 固有語で対応する場合

①漢字語が存在する場合

以下は作品の中で、韓国語の漢字語が日本語に訳される場合、共通の漢字語が存在しているのにも関わらず、漢字語ではなく日本語の固有語に訳されている場合である。

간단 (簡単) / 軽く, 감사 (感謝) / ありがとう, 감정 (感情) / 気持ち, 강요 (強要) / 押し付ける, 거절 (拒絶) / 断わる, 계속 (継続) / 続ける, 고용 (雇用) / 雇う, 고통 (苦痛) / 苦しむ, 과거 (過去) / 昔, 관심 (関心) / 気を引く, 근처 (근처) / この辺り, 기도 (祈祷) / 祈る, 기분 (気分) / 気持ち, 기억 (記憶) / 覚える, 낙엽 (落葉) / 落ち葉, 내복 (内服) / 下着, 다양 (多様) / いろいろなこと, 다정 (多情) / 思いやり, 다행 (多幸) / 幸い, 당분간 (当分間) / しばらく, 도망 (逃亡) / 逃げる, 도착 (到着) / 着く, 동정 (同情) / 慰める, 무조건 (無条件) / 必ず, 방식 (方式) / やり方, 밀착 (密着) / 寄りかかる, 망황 (彷徨) / さまよえる, 변경 (変更) / 換える, 부분 (部分) / ところ, 비참 (悲惨) / 惨め, 실망 (失望) / がっかり, 이해 (理解) / わかる, 적응 (適応) / 慣れる, 정도 (程度) / ほど, 절대 (絶対) / 決して, 토론 (討論) / 話し合う, 행복 (幸福) / 幸せ, 혼란 (混乱) / 戸惑う, 확인 (確認) / 確かめる, 심정 (心情) / 気持ち, 기억 (記憶) / 覚える,

분명 (分明) / 確かに, 솔직 (率直) / はっきり, 허락 (許諾) / 許し

- (16) 정말 실망 (失望) 이야 . . . 용국아
ほんと、がっかりだわ、ヨングク
- (17) 급한 심정 (心情) 을 억누르고 . . .
はやる気持ちを抑えて . . .
- (18) 기억 (記憶) 해준다고 약속했던말이야 . . .
覚えててあげるって約束したんだってば . . .
- (19) 하나도 없어요! 나 분명 (分明) 히 그렇게 얘기 했다.
一つもありません! って! わたしは確かにそう言ったわ!
- (20) 솔직 (率直) 히 니가 좋다니까 허락 (許諾) 한거지.
はっきり言って、あなたが好きだっていうから許ただけで。

例文 (16) ~ (20) では、それぞれ「失望」は「がっかり」、「心情」は「気持ち」、「記憶」は「覚える」、「分明」は「確か」、「率直」は「はっきり」、「許諾하다」は「許す」と訳されている。これらは何れも、日本語にも韓国語と共通の漢字語が存在しているのにも関わらず、漢字語ではなく日本語の固有語に訳されている。その理由とは、韓国語においては、漢字語を用いて特定の意味を表わすが、日本語においては、韓国語と共通の漢字語があるのにも関わらず、日常生活の中での使用頻度によって、漢字語が使われず、意味上類似点を持っている固有語が使われている傾向があるからである。つまり、「失望」「心情」「記憶」「分明」「率直」という漢字語は両言語において共通の漢字語として存在するが、その使用頻度は、韓国語の方が日本語より高い傾向を見せている。日本語では、場合によって類似点をもつ漢字語と固有語を使いわけるのである。例えば、「許諾」は日本語にも存在するが、ある基準や制度や様式に対して、許諾するとき使われるが、単純に同意する程度では、一般に「許諾」は使われず、「許す」または「承諾」と訳されると思われる。

②漢字語が存在しない場合

가령 (假令) / 例えば, 평생 (平生) / これまでずっと, 거래처 (去來處) / 取引先, 굉장 (宏壯) /すごい, 기왕 (既往) / せっかく, 당황 (唐慌) / 途惑う, 대답 (對答) / 答える, 대신 (代身) / 身代わりに, 도대체 (都大體) / どうして, 만약 (萬若) / もし, 미안 (未安) / ごめん, 부자 (富者) / 金持ち, 사공 (砂工) / 漕いでくれる人, 사과 (謝過) / 謝る, 산장 (山莊) / 山小屋, 삼척동자 (三尺童子) / 子ども, 상관 (相關) / 口出す, 상대 (相對) / 相手, 상처 (傷處) / 傷つく・心の傷・傷になる, 설사 (設使) / たとえ, 세상 (世上) / 世の中・この世, 소원 (所願) / 望み, 수상 (殊常) / 怪しい, 분가 (分家) / 同居しない, 신신당부 (申申當付) / 念を押す, 실수 (失手) / 間違い, 실토 (実吐) / ばらす, 심지어 (甚至於) / そのあげく, 양반 (兩班) / 人, 여차피 (於此彼) / どうせ, 염치불구 (廉恥不拘) / 恥を忍ぶ,

- (21) 어쩌면 이 날을 위해 평생 (平生) 을 기다려왔는지도 모릅니다.
ひょっとして、君はこの日のためにこれまでずっと待ち続けてきたのかも知れません。
- (22) 나 보고 일찍 오라고 신신당부 (申申當付) 를 하더니… 뭐야! 난 벌써 30 분이 나 기다렸어!
わたしに早く来いってあんなに念押ししときながら . . . 何さ! もう 30 分も待ったわよ!
- (23) 사공 (砂工) 도 늙어갈거고 그뎨 너무 힘들어서 아마 돌아오고 싶어질거야.
漕いでくれる人も年を取るだろうし、そしたら、すごく大変になって、きっと帰ってきたくなるはずよ。
- (24) 그렇지만, 여차피 (於此彼) 안될거라면 저라도 옆에 있어주고 싶어요.
だけど、どうせ駄目なものなら、僕だけでも傍にいてあげたい。
- (25) 부자 (富者) 됐구나!
お金持ちになったね!

例文 (21) ~ (25) では、それぞれ「평생 (平生)」は「これまでずっと」、「신신당부 (申申當付)」は「念押し」、「사공 (砂工)」は「漕いでくれる人」、「여차피 (於此彼)」は「どうせ」、「부자 (富者)」は「お金持ち」と訳されており、いずれも日本語には韓国語と共通の漢字語が存在しないため、韓国語の漢字語と似ている意味を表わす日本語の固有語を選んで対応している。

例文 (21) で、日本語には「평생 (平生)」という言葉は存在せず、韓国語の「평생교육 (平生教育)」は「生

涯教育」、「평생회원 (平生会員)」は「永久会員」、「평생고용 (平生雇用)」は「終身雇用」のように、文脈によって異なる漢字語で対応する。また、日本語には韓国語の「평생 (平生)」の意味を表わす「生涯」という漢字語も存在するが、例文 (21) のように、漢字語「生涯」は使われず、同じ意味を表わす「これまでずっと」という固有語が使われる傾向がある。

以上のように、韓国語の原作「겨울연가」を対象とし、作品における漢字語が日本語の「冬のソナタ」でどのように訳されるかを考察した。その中で両言語における漢字語の全体的な対応状況を、両言語が共通の漢字語として対応する場合と対応しない場合に分けて考察し、さらに同じ漢字語として対応しない項目に関しては、韓国語と異なる漢字語、または外来語、固有語と対応する場合に分けてそれぞれの使用状況、使い方の特徴に関して具体的に分析した。その中でも、日本語の固有語に訳される文が最も多く、次は共通の漢字語で対応する場合、異なる漢字語、外来語の順になっていることが分かった。なお、使用率の割合をまとめると、それぞれ全体の約 42.5% を占める 1123 文、全体の約 38.7% を占める 1096 文、全体の約 15.2% を占める 425 文、全体の約 4.2% を占める 78 文となっている。その他、「환자 (患者) 아버지 되십니까? / 患者さんのお父さんですか?」が「お父さんですか?」のように、「患者」という漢字語が翻訳されていない場合と、「나한테 물어보면 어떻게 하나 선수 (選手) 가 모르는데? / 俺に聞いてもなあ、選手が分からないのに・・・」が「俺に聞いてもなあ・・・恋愛のプロが分からないのに・・・」のように、「選手」が異なる意味を持つ「恋愛のプロ」に翻訳されている場合も見られた。

4. 結論

以上韓国語の作品を分析対象とし、韓国語の漢字語が日本語ではどのように翻訳されるのかを調べた。結果をまとめると次のようになる。

まず、両言語において共通の漢字語を持っており、且つそれぞれの漢字語の意味・用法が共通している場合は、日本語では韓国語と共通の漢字語で対応している。

一方、韓国語における漢字語と共通の漢字語が存在しても、意味用法上明白な違いがあるか、または若干差異があるため、日本語では韓国語と異なる漢字語で対応したり、或いは韓国語と共通の漢字語が存在しないため、異なる漢字語で対応していることが分かった。

次に、韓国語では漢字語を用いて特定の意味を表わすのに対して、日本語では対応する漢字語が存在しないか、或いは存在しても意味用法上若干差異があるため外来語が使われている。但し、日本語にも同じ意味を表わす漢字語が存在しても漢字語は使われず日常生活の中で、外来語の使用頻度が高い傾向があることが分かった。

続いて、日本語の固有語と対応する頻度が最も高い結果になっているが、その理由は日本語に対応する漢字語が存在しないからである。反面、たとえ韓国語の漢字語と共通の漢字語が存在しても、漢字語は使わず、同じ意味を表わす日本語の固有語を用いる傾向が高いことが分かった。

日本語と韓国語は世界中の諸言語の中でもまれに見る類似点が多い言語であるだけに、母語の干渉による誤用や脱落が生じ、母語と異なる日本語の文法・表現・意味などを看過してしまうような恐れが起きやすいと言える。従って、日本語教育において、教師の側から韓国語との比較を通して指導することは非常に重要である。日本語教育現場で漢字語を指導する際配慮すべき内容を取り上げると、韓国語における漢字語がそのまま日本語で使われる場合と使われない場合に分けて、実際言語場面の中で使われる特有の例文を取り上げて、各形式の意味と成立制限と特徴に注目して指導すれば、日本語における漢字語を理解する上で効果的であろうと思われる。本研究は日本語を指導する側においても、日本語を学習する韓国語学習者の側においても、それぞれの言語の特徴をより正確に把握し、より効果的な日本語の漢字語の学習を可能にする役割を果たすものであると期待される。

【注】

- 1) 言語名称に関して、韓国と朝鮮民主主義人民共和国との対立も絡み合っ、日本では韓国語という名称に加えて朝鮮語、ハングル語、コリア語、ウリマル語 (我々の言葉)、韓国語・朝鮮語など色々な名称が混在している。本稿では、参考にした文献の著者・訳者がすべて韓国系の学者で、あるいは記述の内容が現代韓国語によるものであるため、韓国語という名称を用いることにする。
- 2) 김혜경 (2005) を参考にする。
- 3) 민중서림편집국 (2001) を参考する。
- 4) 연세대학교 언어정보개발연구소 (2008) を参考する。

【参考文献】

- 石井正彦（1992）「造語力をはかるために」『日本語学』5 - 3
社団法人日本語教育学会（2005）『新版日本語教育事典』大修館書店
玉城繁徳（1977）「意味理論と朝鮮語の意味記述について - 朝鮮語と日本語の意味論における対照言語学的考察 -」
『朝鮮学報』77
日本大辞典刊行会（1981）『日本国語大辞典』小学館
野村雅昭（1974）『三字漢語の構造』秀英出版
森岡健二（2002）『要説日本語文法体系論』明治書院
김혜경（2005）「韓日兩國漢語의 意味用法에 관한 対照研究」단국대학교 교육대학원
민중서림편집국（2001）『옛센스 국어사전』민중서림
연세대학교 언어정보개발연구소（2008）연세한국사전 두산동아

【例文出典】

- 『冬のソナタ』で始める韓国語—シナリオ対訳集—
翻訳／安岡明子 キネマ旬報社

